



平成 27 年 6 月 2 日
国立研究開発法人放射線医学総合研究所

放医研・米倉理事長が UNSCEAR 議長に就任

放射線医学総合研究所（放医研）米倉義晴理事長は、去る 6 月 1 日からウィーン国際センターで開催されている原子放射線の影響に関する国連科学委員会（United Nations Scientific Committee on the Effects of Atomic Radiation, UNSCEAR）第 62 回会合で、議長に選出されました。

米倉理事長は 2007 年の第 55 回会合より UNSCEAR 日本代表であり、2014 年からは副議長の職を務めていました。日本が議長国を務めるのは佐々木康人氏以来 10 年ぶりとなります。任期は 2 年。



米倉 義晴 理事長



UNSCEAR 事務局が入っている
ウィーン国際センター

UNSCEAR とは

原子放射線の影響に関する国連科学委員会（United Nations Scientific Committee on the Effects of Atomic Radiation, UNSCEAR）は、冷戦時代の大気圏内核実験による放射性物質による環境影響に対する危惧から人体と環境への放射線の影響に関する情報の収集と知識の普及を目的に 1955 年に設立され、国連総会に対して報告書を提出する役目を担っています。

UNSCEAR では、加盟 27 ヶ国から各国を代表する科学者とともに、国際機関からのオブザーバーらおよそ 100 人が一同に会し、環境における放射線源に関する学術調査データ、医療被ばく、職業人被ばく、公衆被ばくに関する調査データ、放射線による人の健康及び環境への影響や原子力事故による影響などについて、学術的な検討を行っています。その結果、作成された報告書は、加盟各国における放射線防護・安全に関する様々な検討の基盤となる信頼性の高いデータを集めた、有用なデータベースとなっています。

【問合せ先】

国立研究開発法人 放射線医学総合研究所 企画部 広報課

TEL : 043-206-3026 / FAX : 043-206-4062

E-mail : info@nirs.go.jp